

学校だより



# 富士見ゆ窓

熊谷市立富士見中学校だより 第6号

## 【学校教育目標】

確かな学力と健やかな心身の育成  
(めざす生徒像)

「自立・協働・貢献」

- 自ら考え判断し行動できる生徒
- 仲間と話し合い、協力し課題を解決できる生徒
- 他の喜びを自分の喜びとできる生徒

## 【昭和20年8月14日熊谷空襲】

夏休みが終了しました。計画通り過ごせているでしょうか。リオのオリンピックの日本選手の活躍の様子が今でも思い出されます。特に女子レスリングや女子バドミントンの最後まで諦めないで奇跡的な逆転で金メダルを獲得した姿がとても印象に残っています。夏休みの初めに「時間」の話をしました。皆さんに平等に与えられている24時間を自分の目標のために有効に使えている人は、たぶん一ヶ月前の自分とは違った自分になっていることに気づいていると思います。これから先も時間を大切に、そして有効に使って生活してください。

この夏休みに水泳部の皆さんが全国大会に出場し活躍してくれました。また、吹奏楽部、音楽部の皆さんも素晴らしい成果をあげてくれました。吹奏楽部の皆さんの練習に取り組む姿を見る機会があり、私は感動しました。全体練習の途中で、演奏を振り返り、問題点を互いに指摘し合い、それを受けて楽器ごとに話し合い、そして、全員の力で曲を創り上げている姿、これは、まさに富士見中の目指す生徒像の「自立、協働、貢献」そのものでした。

音楽部のNHKコンクール埼玉大会での演奏を聞いて、全員が一つになって全力で演奏する姿、背中がゾクッとするほどの感動でした。TBSのコンクールでの優秀賞、東日本への出場を期待しています。どの部活動からも本当に大きな感動をもらいました。ありがとう。

また、8月6日に行われた「第4回科学の甲子園ジュニア埼玉県大会」に出場した2年生の後藤君、増野君、青木君は出場した155チーム中7位という素晴らしい成績で優秀賞を獲得してくれました。

8月27日にPTAの奉仕作業が行われて、男子テニス部も協力してくれましたが教室のペンキ塗り、トイレ掃除をしていただき見違えるようにきれいになりました。感謝の気持ちを持って生活してください。

8月22日が台風のため登校日が行えなかったため、予定していた内容を今日行います。

皆さんは、昭和20年8月14日深夜・・・熊谷で起こったことを知っているでしょうか。

8月17日の読売新聞の記事を紹介します。『熊谷市の市街地を流れる星川で16日、第二次世界大戦の熊谷空襲による犠牲者を慰霊し、平和を祈る灯籠流しが行われた。市民らは灯籠約800個を川面に浮かべて手を合わせた。同市は敗戦前夜の1945年8月14日、米軍の爆撃機B29の空襲を受け、市街地の約3分の2が焼失して266人が死亡した。星川にも猛火に追われた人たちが飛び込み、多くの犠牲者が出た。灯籠流しは50年から毎年8月16日に行われている。これまでは地元の住民団体が主体だったが、今回から地元関係者や市観光協会などで実行委員会を結成し、後世に引き継ぐことになった。市立荒川中学校の生徒たちも灯籠作りを手伝った。』

この記事を読んで私は熊谷図書館に熊谷空襲に関する資料がないか問い合わせ「市民が見つかる熊谷戦災の記録」という本を手に入れました。今日はその中の2編を紹介します。

一つ目は「土手へ逃げろ」当時12才熊谷市弁天町に住んでいた作家の森村誠一さんの体験です。鴻野先生に読んでいただきます。

もう一つは「あの夜、星川の思いで」当時32才クリーニング業、尾崎けいさんの体験です。井上先生に読んでいただきます。

世の中で一番大切なものは「いのち」です。そして「いのち」をもっとも多く奪うものは戦争です。

今も世界ではいくつかの国で戦争が行われています。地球上で戦争が途絶えたことはありません。二度と戦争は起こしてはいけません。

戦争の無い未来をつくれるのは皆さんの力です。

教室で感想用紙を渡しますから感想を書いてください。

8/22 集会が延期となり 8/31 に実施した朝会の校長講話より

### 「土手へ逃げろ」 森村 誠一 当時12才 (朗読者 鴻野教諭)

昭和20年8月14日の深夜、当時12歳だった私は、異様な気配に目を覚ました。蚊帳の周囲が昼間のように明るく何かが爆ぜるような音がする。

大きな臭い臭いが漂い、私は激しくむせた。「空襲だ」と言う叫び声が遠方で聞こえた。連日連夜の空襲警報の発令で私たちはいつでも逃げ出せるように着の身着のまま寝ていた。枕元に置いていた身の回り品を入れたカバンをつかむと、私は母や妹と共に防空壕に逃げ込んだ。別の部屋に寝ていた父が既に、先に逃げ込んでいて、私たちの顔を見てほっと安心をした。父も私たちを起こすのを忘れて、自分だけ逃げてしまったそうである。このことで、父は後々まで母から責められていた。私が生まれ育った故郷の町は、ほとんど全市が火の海になっていた。見上げる上空は、照明弾に照らされ、焼夷弾がバラバラと雨のように落ちてくる。私は我が町が焼かれる恐怖も忘れて、美しいと思った。「ここに居ては危ない、土手のほうに逃げろ」と父に言われて、私達は、高崎線の線路を越えて桜堤のほうへ逃げ出した。父は少しでも火を消そうとして後へ残った。堤の高みに立って見廻すと、周囲ごととくから火の手が上がっている。夜空をいくつもの探照灯が切り裂き、照明弾が後から後から投下される。地平線のどの角度を探しても逃げ場所はないように思われた。誰かが「荒川大橋も爆弾に壊されて渡れない」と言った。私はもうだめかと思った。後から追いついてきた父が当時、堤の外にあった「グラウンド」へ連れて行った。グラウンド(今はない)の草むらの中にうずくまって私は茫然として燃えている熊谷を見ていた。

上昇気流が盛んに雲を呼ぶのか、雨が激しく降ってきた。「誠一、よく見ておくれ。お前の町が今夜でなくなってしまうぞ」と父の言った言葉が今でも耳に焼きついている。私の家が会った弁天町は、星川のすぐそばにあった。当時の星川は今のよう直線の河ではなく、市内を流れる自然のままの曲がりくねった流れであった。火を避けて、この星川へ逃げ込んだ人達は、ほとんど全員が翌朝死体となって発見された。星川の流れ死体で埋まっていた凄惨な光景は、今でも忘れられない。自分一人だけ逃げ出した。土手へ逃げるように命じた父の一瞬の判断が家族全員の命を救ったのである。翌日、一面の焦土の熊谷に立って、終戦の詔勅を聞いた。熊谷市民は、祖国と我が町と我が家を一夜のうちに失ってしまったのである。私は我が故郷の熊谷を思うとき、たった一日の違いでどうして熊谷市を救えなかったのかと心の底から憤りが突き上げるのを覚える。アメリカ軍にしても、熊谷市を破壊する戦略的な意義も価値もほとんどなかったろう。

当時の日本を牛耳った、わずかな数人の愚かなる指導者の一瞬の判断のためらいが、私の故郷熊谷市を焼き多数の死傷者を出したのである。熊谷の戦災は、すでにポツダム宣言の受諾が決定された後に我が町の熊谷が焼かれたという事実は、決して忘れてはなるまい。熊谷市は、太平洋戦争における最後の犠牲であり、まったく無意味な葬り去られた犠牲の羊(スケープゴート)であったのである。



「あの夜、星川の想い出」尾崎けい当時32才（朗読者 井上美先生）

私たちの住んでいた熊谷市は終戦前夜に戦災に会いました。それは8月14日の夜11時10分頃でした。毎日毎夜のように鳴る警戒警報のサイレンにて仮眠を破られる。咽喉が渴いたので水を飲み、お勝手に行きポンプをつき冷たい水を飲んでようやく目が覚めた。灯火管制にて室内は薄暗く、外は真暗でした。その時、稲妻のような光が一面に「パツ」とひろがり真昼のような明るさになりました。照明弾が投下されました。私は慌てて蚊帳のつりてをもぎとり寝ている長女、裕子（5才）を大声で起こし次女の由枝（3才）を背負い家を出ようとした時、バリバリという音と同時に焼夷弾が家の中へ飛び込んできました。さあ大変です。乳母車の上にあったフンを焼夷弾の上にかぶせて、その横を通り玄関に出て履物をはき外に出ました。不動尊の庭にも焼夷弾がたくさん落ちて火を吹いていました。左を向いて鎌倉町に出て荒川の方に逃げようと思い、長女の手を引いてかけ出しました。ところが島屋の酒蔵より道路まで火を吹き出しています。恐ろしくて其の所が通りぬけられませんでした。その時、付近の人が2、3人星川へとびこみました。私も子供と一緒に川に入り、先ず大屋医院の入口の石橋の下に逃げ込みました。安全かと思った石橋の下は煙が入ると息がつまり呼吸できません。これでは仕方がないと川の中を歩いて自分の家の裏迄来ました。来て見ると近所の人が5、6人かたまっていました。私の家も、両となりも、皆紅蓮の炎を上げてものすごい勢いで燃えています。せまい星川の中に、しゃがんで「熱い熱い」と悲鳴を上げながら防空頭巾の上より水をかけ合いました。私はたまりかねて、子供を背負ったまま川に寝そべった事が2、3度ありました。その時でした。川の端に立っていた清の家さんの二階家がどんどん燃えながら棟が焼け落ちて川の中へ「ドツ」とくずれ込みました。それを見た瞬間思わず顔を伏せました。丁度その場所で多数の死者出たことをあとでできました。北側は関根洗張屋の作業場で空地が百坪あった為に、しのぎ良いと思って人が集まったのでしょうか。火事場特有の熱風が吹き、熱湯のような雨も降りました。焦熱地獄の苦しみとは、正にこの事だと思ひ、誰もが無我夢中でした。星川の水が大変増えて来ました。まわりの家も燃えつくして火勢も下火になり、やっと我に返った時、確かに着て出たネンネコも無くなり、背負っていた帯がゆるんでとけてきて背中から由枝を下ろしたが息をしておりません。仮死状態でした。慌てて近くにあった経師屋のおばさんに話した所「しっかり抱いていな、親子一緒に死ぬんだよ」と言われました。経師屋さんも熊商2年生の輝行さんが、すでに死んで流れて通ったと言っていました。事実でした。長女の裕子の洗張屋の房子さんに面倒を見てもらっていましたが「母さん熱いよ」と泣きながら足にまとわりつきます。そばにいた佐野俊枝さん（12才）が急に泣き出しました。「どうしたの」と聞くと、弟と一緒に連れてきたのに弟がいないといひます。付近を探しましたがおりません。「父さんに叱られる、どうしよう」と泣いています。その父親も母親も弟も妹も共に川の中で死にました。助かったのは俊枝さん唯一人でした。玉ころがしの内田のお内儀さんが放心状態のまま小さな風呂敷包み一つ抱えて私たちのところに来ました。「子供はどうしたの」と声をかけると初めて「ハッ」として子供二人連れて出たがいないと云います。多分夢中になっていつか子供の手を放して水に流され、子供だと思って包みをだいていたのでした。まもなく親父さんが死んでいる女の子の足を引きながら私たちに近づいて来て「家の子はみんな死んだよ」といって泣いていました。子供4人川の中で死んでしまいました。数時間前迄住んでいた私たちの家は全部焼けました。夜が明けて来て星川の水の冷たさが身にこたえるようになりました。川下の方から関根洗張屋さんが不動尊の庭に行こうと云いながら近づいて来ます。みな星川からはい上がりました。履いて出た履物も、いつかぬいでしまい裸足で焼跡が熱くて通れず、バケツリレーで水を運びながら通路を作り不動尊の庭に行きました。東の空には、もうもうと立ち上る、煙の彼方にまっ赤な太陽が出はじめた所でした。思えば11時20分頃から4時半すぎ迄、実に5時間の長きにわたる猛火との戦いでした。まだ本町通りが盛んに焼けていて、つむじ風の熱風が私の背中と顔にしみて痛くてがまん出来ませんので防空壕に避難しました。しっかり抱いていた由枝がその時に、目を閉きました。「母ちゃん、こわいよ」と泣き出しました。ああ奇跡的に助かりました。日頃無関心の私も思わず神仏に手を合わせ、心から感謝しました。その後かなりの時間がたって「尾崎サーン、尾崎サーン」と誰かが呼んでいます。防空壕を出て見ると、実家の母と妹が近所の人を二人頼んで探しに来てくれました。妹がかげより「姉ちゃん生きて良かった」とさげび、「火傷がひどいね」と一言いいました。母にリヤカーに乗せてもらい実家に帰りました。家路を急ぐ途中で今日は天皇陛下の放送があると道行く人が話していました。初めて布団の上に横になりましたが、みんな熱が出て苦しみました。幸い子供達は2日程で熱は引きました。長女の裕子は右肩に、握りこぶし大の火傷又耳の後ろに小石ぐらいの火傷でした。次女由枝は顔の左目の上に握りこぶし大の火傷ができただけで割合に軽傷でした。私は顔面全体がはれふさがり、目も開けられず食物も咽喉を通らず、又背中一面の大火傷でした。毎日熱も出るし夏の事で火傷が化膿して膿が背すじを走るので気持ちが悪く、その不快さは、今忘れられません。現在の西小学校の南校舎が臨時の救急病院になり手当てを受けてリヤカーに乗って通いました。だが3日目には火傷の薬がないと宣告された時心細さは何ものにも例えられません。火傷の負傷者が多く医師も薬も不足でした。近所の人がある事情を聞きつけて深谷・本庄から群馬の町迄行き、火傷の薬を探して買ってきてくれましたが不足でした。その内に飯田長峯先生のお父さんが理研の医師に連絡をとって来て理研の治療室迄毎日、リヤカーに乗って通いました。火傷より急性肺炎になっていると云われてその手当てを受けました。医師が失明してはと心配していましたが、火傷をしてから30余日を経てやっと目が見えるようになりました。私の母は後日に話しましたが、私は子供を残して死ぬのだからと思って覚悟をしていたとの事です。皆さんの善意に支えられてその後快方に向い、顔の火傷は3年位でほとんど治りましたが背中には現在まだ傷跡が残っています。自分の家の焼跡を見に行ったのは10月下旬でした。弟が焼跡の整理をしてくれましたが焼夷弾のからが5個出たと聞いています。今あの当夜の事を振り返って見ますと墨江町周辺は以外に火のまわりが早く、遠くへ逃げ出す余裕がなくて止むを得ず皆、星川に入り数多くの死者が出てしまったことと思います。私の近所の犠牲者だけを数えても西隣りの金井さんの兄弟姉妹が手をつなぎ合って4人死亡し一家全滅です。又2階に東京から疎開してきた人の子供2人も亡くなりました。東隣りの内田さんが子供4人死亡でした。向かいの注射針を製造していた佐野六太郎さんは夫婦と子供3人、一家5人が死亡しました。なお負傷しながら、あの夜は元気だった関根洗張屋の主人も、10月7日について亡くなりおかみさん頭部の火傷がひどくて今の熊谷市立の診療所入院して手当てを受けておりましたが日増しに衰弱ついに9月5日に死去し、長女の子文さんも子供と共に当夜川の中で亡くなり一家4人の犠牲となりました。まいりました毎年8月15日になりますと、悲しみもあらたに、あの夜の事がまざまざと走馬灯のように思い出されます。私の生涯を通じて忘れることのできない体験です。

2年C・Fさん

私は熊谷空襲について深く考えたことはありませんでした。空襲の時のものやその状況を表した模型が展示されている場所に行っても「こんなことがあったんだ」と社入事のように思っていただけでした。でも、今日の集会で空襲を体験した方が喜ぶお話を聞いて、「もう、こんなことは決して起こさず欲しい」と本当に思いました。70年前でも自分のおばあちゃんたちが体験しているので自分とは無関係ではないと改めて思いました。自分達の子供にもしっかりと、このことを伝えて生きたいです。

2年M・Sさん

今回の全校朝会で「熊谷空襲」について聞き、私は熊谷市民の身に起きたことを改めて理解しました。星川のお話については星川近くの父の実家の祖父から「星川に逃げた人達は火から逃げられずに亡くなってしまった。」と小学校の頃、聞いていました。私は小学校のときには毎年灯ろう渡しに行っていました。が中学に入ってから灯ろう渡しに参加できていないので来年こそは参加してみたいと思います。お話の中で「熊谷への空襲はアメリカ軍にとって意味があったのか」「スケープゴート」という言葉がとても気になりました。

3年H・Fさん

私は熊谷空襲についての話を祖母の叔母から聞いたことがあります。その方は当時、熊谷女子高等学校の生徒でした。学校に勉強をするために行った日は少なくほとんどが軍需品をつくるために行っていたそうです。今回聞いたお二人の話にも祖母の叔母の話にもあと一日早ければ・・・何故、熊谷は空襲にあったんだと悔しい思いが強いように感じます。私は歴史で戦争のことを学び、知ったことでその悔しさの大きさがとてもわかるようになりました。「戦争はね、もうしちゃいけない。」祖母の叔母の言葉は今、多くのことを知ってさらに重い大切な言葉になりました。

3年M・Sさん

熊谷空襲の話聞いて今、住んでいる町が昔、焼けてしまったことがとても不思議に思いました。約70年前から変わって今、私が愛している熊谷が出来上がった。音楽部で戦争がテーマの曲を歌ったのですがもっと悲惨なものだったのだとわかった。合唱部で歌う私のクラス曲もこのような歌なので今日聞いたことを思い出しながら歌えたらと思います。戦争があったということをしかり受け止め、平和を維持できるよう受け継いでいきたい。

1年M・Mさん

私の祖父も熊谷空襲を体験しています。祖父の話だと土平の上から荒川でなくていく人々を見ていたと言っていました。生まれ育った町、熊谷でこのようなことが起こった事は人ごとではないと思いました。二人の先生の戦争の話聞きながら混乱する人々の様子が悪い夢かと思いました。とてもひどいことを世界でし合っていたと思うと背筋がゾクッとしました。今後このようなことが起きないように願ひ、伝えていきたいと思ひます。



1年H・Fさん

私は「熊谷空襲」についてのお話を聞いて改めて戦争や空襲の恐ろしさを感じました。空襲によって大切な家族や友人を失ってしまう人がいるということに心を痛めました。今の中学生で「できることは自分でやれないことならできないさそうなのはすべて親に任せる」という時期ですが「その親がいなくなったら」と考えるといろいろな感情が込み上げてきます。このお話を聞いて、もう二度と戦争や空襲があってはほしくないと思ひ、大切な場所、人、命、物を失わないようにより良い国同士の関係を築いてもらいたいです。



学校だより



# 富士見ゆ窓

熊谷市立富士見中学校だより 第7号

## 【学校教育目標】

確かな学力と健やかな心身の育成  
(めざす生徒像)

「自立・協働・貢献」

- 自ら考え判断し行動できる生徒
- 仲間と話し合い、協力し課題を解決できる生徒
- 他の喜びを自分の喜びとできる生徒

## 9月全校朝会

時間前に全校生徒が集合でき、とても素晴らしいと思います。これも生徒会が中心になって行っている取組の成果であると思います。

全国学力・学習状況調査の結果が出ました。国語、数学の学力については各教科の担当の先生から返され、説明があると思います。

先生の手元に3年生の皆さんが答えてくれた「質問紙の回答の集計結果」があります。この集計結果を見て、「流石富士見中学校だなあ」と感動しました。特に富士見中学校が全国や埼玉県と比較して特長的な部分を紹介します。(「はい」と答えた3年生の割合)

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」全国 19.0 % 富士見 30.4 %

「自分にはよいところがあると思いますか」全国 27.4 % 富士見中 37.1 %

「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか」全国 17.6 % 富士見 25.0 %

「将来の夢や目標を持っていますか」全国 45.1 % 富士見中 57.9 %

「一日あたりどれくらいの時間テレビゲーム等をしますか。全くしない」

全国 16.6 % 富士見 32.1 %

「一日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。2時間以上」全国 34.2 % 富士見 46.2 %

「家の人と学校の出来事について話をしますか」全国 44.2 % 富士見 58.3 %

「家で、学校の授業の予習をしていますか」全国 11.9 % 富士見 22.5 %

「家で、学校の授業の復習をしていますか」全国 18.4 % 富士見 31.7 %

「学校に行くのが楽しいですか」全国 48.4 % 富士見 57.1 %

「あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか」全国 38.9 % 富士見 54.1 %

「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」全国 48.7 % 富士見 63.3 %

「学校の規則を守っていますか」全国 61.6 % 富士見 72.9 %

どの調査結果を見ても富士見中学校の素晴らしさを現していると思います。

最後に4月から今までお話ししてきたことを再確認します。

1 「笑顔」で登校する。「笑顔」で授業を受けるということです。

笑顔をつくると 脳は楽しいと判断するから、学校、授業が楽しくなります。

2 「形」を整えるということです。

人は見た目が9割です。服装、髪型、言葉遣い等が整っていると他の人に良いイメージを与えます。

3 「想像」

相手の気持ちを想像できる人になってほしい。

4 「時間」

人には平等に時間が与えられている。24時間をどう使うかで自分を変えられる。

富士見中学校の目指す生徒像「自立・協働・貢献」をいつも頭の中で意識し、皆さんの力で素晴らしい富士見中を創っていきましょう。



平成28年9月5日(月) 全校朝会校長講話より

## 第56回全国中学校水泳競技大会結果

7/22～25に行われました埼玉県学校総合体育大会（水泳の部）が行われ、個人で栗島さんが100・200m背泳ぎで全国大会出場。さらに400mメドレーリレーにおいて2年連続で優勝し、全国大会に出場を果たしました。全国大会は8/17～8/19に新潟県長岡市で行われました。

結果は以下のとおりです。

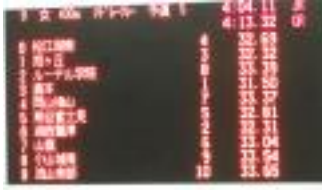
栗島優都紀さん 100m背泳ぎ 21位  
 200m背泳ぎ 23位  
 中山美彩さん（背泳ぎ）・加藤玲奈さん（平泳ぎ）  
 吉原怜奈さん（バタフライ）・栗島優都紀さん（自由形）  
 400mメドレーリレー 14位



埼玉県大会より



埼玉県大会より



全国大会より



全国大会より

第59回県合唱コンクール中学校部門（同声合唱）銀賞  
 8/28、さいたま市文化センターにおいて開催された本コンクールに合唱部が出場し、銀賞を受賞いたしました。

TBS子ども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会出場決定  
 12月26日 江戸川区総合文化センター

## 第4科学の甲子園ジュニア埼玉県大会 7位 優秀賞受賞

8/6、県立総合教育センターにて理数分野の筆記問題及び実技問題に挑戦し、全国大会出場権を競う大会が行われました。参加155チーム、総勢457名（1チーム3名）の中、本校の後藤雷汰さん、増野広貴さん、青木大海さんの2年生チームが見事、7位優秀賞を受賞いたしました。

## 第57回埼玉県吹奏楽コンクール北部地区大会銀賞

8/3、本庄市民会館において本コンクールに吹奏楽部が出場し、銀賞を受賞されました。

今後の予定をお知らせいたします。

日	曜	学 校 行 事 等	日	曜	学 校 行 事 等
9/16	金		9	日	
17	土	くまなび	10	月	体育の日
18	日		11	火	生徒会本部役員選挙
19	月	敬老の日	12	水	新人県大会(陸上)
20	火	安全点検	13	木	新人県大会(陸上)
21	水	専門委員会 10～13組校外体験学習	14	金	生徒会2年役員選挙
22	木	秋分の日	15	土	くまなび
23	金	進路説明会(3年5.6校時)	16	日	
24	土	くまなび	17	月	市駅伝予選会
25	日	秋季ふれあいピック	18	火	市駅伝予選会予備日
26	月	アルミ缶回収 新人戦予選会(陸上)	19	水	新人戦県大会代表者会議
27	火	中3実力テスト 新人陸上予備日	20	木	前期終業式
28	水	生徒会朝会(保健委員会)	21	金	秋季休業日
29	木	新人予選中心日 出前授業保健学習(成田小)	22	土	秋季休業日 PTAバザー
30	金	新人予選中心日	23	日	秋季休業日
10/1	土	くまなび	24	月	後期始業式 生徒会役員任命式
2	日	新人予選(体操)	25	火	3年実力テスト 第2回学校評議員会
3	月	HQCシート実施	26	水	
4	火	全校朝会	27	木	音楽会準備
5	水		28	金	校内音楽会 弁当持参
6	木	臨時歯科健診	29	土	くまなび
7	金	PTA下校指導	30	日	
8	土	代表決定戦 くまなび	31	月	

※行事予定は都合により変更される場合があります。予めご了承ください。



